

事例番号:380056

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第二部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 30 週 1 日 切迫早産のため搬送元分娩機関に入院、発熱あり

#### 3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

#### 4) 分娩経過

妊娠 30 週 2 日

5:30 陣痛開始

7:08 子宮収縮増強のため母体搬送となり当該分娩機関に入院

7:14- 胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数基線 165 拍/分の頻脈、軽度変動  
一過性徐脈の散見を認める

7:45 血液検査で白血球 25500/ $\mu$ L、CRP 5.06mg/dL

7:55 経膈分娩

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で軽度の絨毛膜羊膜炎を認める

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:30 週 2 日

(2) 出生時体重:1400g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.30、BE -2.2mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 6 点、生後 5 分 7 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

出生当日 早産極低出生体重児

(7) 頭部画像所見:

生後 58 日 頭部 MRI で脳室周囲白質軟化症の所見

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 1 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 3 名

看護スタッフ:助産師 4 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、出生までのどこかで生じた胎児の脳の虚血(血流量の減少)により脳室周囲白質軟化症(PVL)を発症したことであると考える。
- (2) 胎児の脳の虚血(血流量の減少)の原因を解明することは困難であるが、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性を否定できない。
- (3) 子宮内感染が PVL の発症に関与した可能性がある。
- (4) 早産期の児の脳血管の特徴および大脳白質の脆弱性が PVL 発症の背景因子であると考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

搬送元分娩機関における妊娠中の管理(妊婦健診、妊娠 27 週 5 日の性器出血に対しトリドロン塩酸塩錠を処方し外来で経過観察)は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 30 週 1 日、切迫早産のため入院管理としたこと、および妊娠 30 週 2 日

子宮収縮増強のため母体搬送としたことは、いずれも一般的である。

- (2) 当該分娩機関における母体搬送受け入れ後の対応(内診、超音波断層法実施、分娩監視装置による連続監視)および分娩経過中の管理は、いずれも一般的である。
- (3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

出生後の対応は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

#### (1) 搬送元分娩機関

なし。

#### (2) 当該分娩機関

なし。

### 2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

#### 搬送元分娩機関および当該分娩機関

胎児心拍数陣痛図を5年間保存しておくことが望まれる。

【解説】妊娠30週1日18時45分から22時50分および妊娠30週2日5時55分から母体搬送頃まで装着した胎児心拍数陣痛図の所在が不明であるが、胎児心拍数陣痛図は患者情報において重要な資料であり、母体搬送先へ資料原本を提出する場合、あるいは母体搬送の際に資料を引き継ぐ場合は、あらかじめその管理方法を両施設間で協議して決めておくことが望まれる。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

- ア. 早産児のPVL発症の病態生理、予防に関して、更なる研究の推進が望まれる。

イ. 絨毛膜羊膜炎および胎児の感染症や高サイトカイン血症は脳性麻痺発症に関係すると考えられているが、そのメカニズムは実証されておらず、絨毛膜羊膜炎の診断法、治療法はいまだ確立されていない。これらに関する研究を推進することが望まれる。

**(2) 国・地方自治体に対して**

なし。